

NO	事業名	前年度からの継続事業	事業概要	教員・学生の種別	申請者
1	心と体の発達のための乗馬体験	新規	子どもたちの心身の健康の保持増進及び自尊心の向上を図るため、東海市内の小学生を対象に大池公園にて「乗馬療育」を実施する。	教員事業	星城大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻 藤田 高史
2	その子らしさを伸ばすための支援	新規	発達障害児、不登校、引きこもり等様々な問題を抱えているが自ら発信することが困難な状況にある未成年者を抱える家庭について、行政と連携してアウトリーチし、自己実現（社会活動参加等）に向けた支援を継続的に実施する。	教員事業	星城大学 山田 和政
3	星城大学留学生による多文化共生のための文化講座開催事業	新規	東海市民の多文化共生意識の向上及び留学生の定住促進を図るため、留学生による東海市民のための文化講座を開催する。	教員事業	星城大学 留学生別科 林 エミ
4	大学×地域の健康教室	継続	東海市民の地域交流を兼ねたスポーツ振興に貢献するため、昨年度実施したニーズ調査に基づいた健康教室を開催する。	教員事業	星城大学 スポーツマネジメント分野 北田 友治
5	星城大学剣道部による「こども剣道教室」	継続	学生らによる地域交流及び次世代育成として、東海市にゆかりのある剣道の監督を招き、東海市内の小中学生を対象として「こども剣道教室」を開催する。	学生事業	星城大学 剣道部 岩坂 亮
6	東海市魅力発信事業	新規	東海市民のシビックプライドの向上及び東海市の魅力を高めるため、観光地や産業を中心にコンテンツを発掘し、SNS等を通じて広く発信する。	教員事業	星城大学 観光・まちづくりゼミ 谷口 庄一
7	「SDGsを市民の合言葉にしよう part-3」プロジェクト	継続	自分事としてSDGsに貢献できるような行動を促進するため、企業・NPO・市民等へのインタビューや新聞の作成、カードゲームの作成、高校生・中学生などとのワークショップ、東海市版SDGsの作成等を通じて、市民に対して共感をもってSDGsの意義と役割をPRする。	教員事業	日本福祉大学 千頭ゼミ 千頭 聡
8	東海市イングリッシュ・サロン	継続	英語や英語を使用する国の文化について楽しく学びながら、市民間の異年齢交流の促進を図るために、大学生をファシリテーターとした英語コミュニケーション活動や留学生のプレゼンテーションにより文化的背景に触れる文化交流会など、小学生から大学生、そして地域の大人との協働によるイングリッシュ・サロンを開催する。	教員事業	日本福祉大学 米津ゼミ 米津 明彦
9	小学生×につぶく生 夏休み交流イベント	新規	東海市の子どもたちが、多文化共生社会を築いていく上で必要となる素地を養えるよう、夏休みの宿題手伝い等を通じた異文化理解イベントを開催する。	教員事業	日本福祉大学 田中ゼミ 田中 真由美
10	災害時の安全を守るために必要な知識の提供と安全に関する市民の意識調査	新規	東海市民が災害時に適切な判断や避難行動をとることができるよう、避難行動に関する市民意識を明らかにするとともに最新の知識を提供する。市民総合防災訓練をはじめ、市内コミュニティで実施される自主防災訓練において実施する。	教員事業	日本福祉大学 災害ボランティアセンター 東海 新美 綾子
11	東海市産地産地消応援交流プロジェクト～みんなで豚汁&エゴマを味わおう～	継続	東海市産の野菜やエゴマ油の認知度向上、市民や農家との交流等を図るために、東海市産の野菜やエゴマ油を使ったレシピの紹介や料理の提供等を行うイベントを開催する。	学生事業	日本福祉大学 吉田ゼミ 藤田 航士
12	太田川駅前ミュージアム	新規	東海市民に芸術を通じたふれあいと体験の場を提供するため、太田川駅前広場においてシルクスクリーンを利用した作品の展示及びシルクスクリーンの版元を利用したワークショップを開催する。	教員事業	日本福祉大学 原田ゼミ 原田 忠直
13	子育て中の外国籍住民が抱えている課題の明確化と、子育てに資する情報提供の仕方に関する検討	新規	東海市在住の子育てをする外国籍住民が、必要な公共サービスを受けやすく、子育てに必要な情報を効率よく入手できるようにするために、外国籍住民が子育て中に抱えている課題を理解し、その解決に役立つ資料を作成する。	教員事業	日本福祉大学 国際福祉開発学部 カースティ 祖父江